

岐阜信金本店建て替えへ

設計、完成時期は未定

岐阜信用金庫（好岡政宏理事長）は1日、岐阜市神田町の本店ビルを建て替えることを発表した。築約60年が経過して老朽化が進んでいることを受け、同じ場所に新しい本店を建設する。詳細な設計や完成時期は、決まり次第公表するとしている。

本店は駐車場を含め敷地面積約1600平方メートル。本店ビルは鉄骨鉄筋コンクリート造り、地上8階、地下1階で、延べ床面積約6840平方メートル。建て替えの間は、金融機関の店舗だった近隣の建物を仮店舗にして本店業務を行う。現本店は



建て替えが決まった岐阜信用金庫本店ビル＝岐阜市神田町

10月31日で営業を終え、11月4日から仮店舗に移る。同金庫は建て替えについて「地域とともに歩む金融機関として、岐阜市のまち

づくり構想と調和を図り、にぎわいに貢献する計画としている」とした。本店は、4月に開設した地域のにぎわい交流拠点

「G's Dream」（同市神田町）の場所にあったが、1965年に現在地に新築。当時は「全国信金中、最大の本店建物」といわれる規模だった。

同金庫の25年3月期単体決算の期末預金残高は2兆6598億300万円を過去最高となっており、県内信金でトップ。全国254信金の中でも9番目（3月末時点）となっている。